

「技術に驚き」をテーマとした三菱電機の企業広告

乾かさずに、吹き飛ばす。 エネルギーを効率的に使う新しい発想。

競馬場の巨大な映像装置、130億光年先を見ることができる望遠鏡…

「技術に驚き」をテーマとし、様々な領域で社会を支える三菱電機の幅広い技術を紹介する企業広告。その第54弾として「ジェットタオル」の技術を紹介いたしました。

Point 1 業界初！ 風の技術が生み出した乾燥方式

「乾かす」より「吹き飛ばす」方が、はるかに小さいエネルギーで済むという物理的原理に着目。時速396km※という強風で、手に残った水滴を吹き飛ばします。しかも、風だけを使った非接触乾燥方式なので、とても衛生的です。

※ハイパワータイプ JT-WB220DS形（吹き出し口での測定値）

Point 2 強い風を生み出す DCブラシレスモーター

永久磁石を使用した耐久性の高いDCブラシレスモーターを採用（一部機種を除く）。モーターへの電力供給を微細にコントロールすることで、力強い高速回転でファンを回します。

Point 3 風を緻密に制御する ハイパースリットノズル

風の吹き出し口を細い線状にし、設置位置や吹き出し角度を微細に調整（スリムタイプ）。この山型のハイパースリットノズルが膜状のジェット風を作り出し、手の水滴を一気に吹き飛ばすことを可能にしました。

Point 4 環境に配慮した 「風で拭くタオル」

ジェットタオルは紙の補充やゴミの処理、ロールタオルの交換などがなく、コスト・メンテナンスにおいても優れています。

Point 5 さまざまなシーンで 幅広く活躍

オフィスや店舗、病院や学校、公共施設などさまざまなシーンで導入が進んでいます。そんな用途の広がりに対応し、カウンターの上に設置できる「ジェットタオルプチ」も開発されました。

●シリーズ第54弾 ハンドドライヤー＜ジェットタオル＞



時速396km※の強風で素早く水滴を吹き飛ばす。
風の技術が生み出した非接触で清潔な乾燥方式。

レストランや公共施設などのトイレで、おそく誰もが使うことがあるジェットタオル。手についた水滴を「風で吹き飛ばす」という従来の「乾かす」方式と異なり、これは「乾かす」より「吹き飛ばす」方がはるかに小さいエネルギーで済むという物理的原理に着目した結果です。吹き出し口から出てくる風は、時速396km※という強風。その風を無音の静かな状態でコントロールすることで、素早く手を乾かします。風だけを駆使した非接触乾燥方式なので衛生的。しかも、ゴミも出ません。ジェットタオルは、手にも環境にも配慮したタオルなのです。

No.54—三菱電機のハンドドライヤー（ジェットタオル）

強い風を生み出すブラシレスモーターと独自のスリットノズル

強い風を生み出すブラシレスモーターと独自のスリットノズル。強い風を生み出すブラシレスモーターと独自のスリットノズル。強い風を生み出すブラシレスモーターと独自のスリットノズル。

さまざまな利点を生み出す「風で拭くタオル」

「風で拭くタオル」は、紙の補充やゴミの処理、ロールタオルの交換などがなく、コスト・メンテナンスにおいても優れています。また、手にも環境にも配慮したタオルなのです。

キー・テクノロジーで 変える。

三菱電機株式会社